

クラス	TU302	担当教員	今井理恵
テーマ	特別な教育的ニーズのある子どもと共に学ぶ ―教育の意義と課題		
著書・論文 研究課題等	<p>(著書)</p> <ul style="list-style-type: none"> 『インクルーシブ授業をつくる ―すべての子どもが豊かに学ぶ授業の方法―』、共著、「参加と共同を軸にした授業づくりの方法論」、pp.60-71、ミネルヴァ書房、2015年. 『インクルーシブ授業の国政比較研究』、共著、「インクルーシブ授業における子どもの参加・共同に関する教育方法学的検討」、pp.76-861、福村出版、2018年 『アクティブ・ラーニング時代の実践をひらく「障害児の教授学」』、共著、「教材文化の教授学」、pp.104-116、福村出版、2019年 		
ゼミナール概要			
キーワード：特別な教育的ニーズ、発達障害、インクルーシブ教育、学習の共同化、特別ニーズ教育			
<p>目的、内容、方法、授業計画等：</p> <p>(学習目標)</p> <p>特別な教育的ニーズ (SEN) のある子どもに応答する教育のあり方について考えを深めることで、ニーズのある子どもはもちろんのこと、一人ひとりの子どもの発達を支え、学びを豊かにするインクルーシブな教育について追求します。</p> <p>(内容、方法)</p> <p>子どもの生活現実と SEN に対する認識を深め、さまざまな課題のある子どもに対して教育はどのように応答しようとしているのかを考察・検討します。</p> <p>そのうえで、一人ひとりが排除されることなく、お互いの差異を認め合い、多様な他者とのつながりのなかで共同的にかかわり合い、学び合う教育実践のあり方について追求していきます。</p> <p>(授業計画等)</p> <p>1. SEN のある子どもの生活現実をよみひらく、2. 子どもの生きづらさと向き合う、3. 子ども観を問い直す、4. 特別なニーズ教育について認識を深める、5. SEN のある子どもの学びについての現状と課題を探る、6. 「共同的な学び」のあり方について追求する。</p> <p>上記にあげた学習課題について文献、資料、研究会への参加などを行いながら学び、ゼミ生たちが主体的に研究テーマを設定し、研究を行います。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>特別な教育的ニーズは、障害を持つ子どもはもちろんのこと、障害の有無にとどまらずに、いじめ、不登校、貧困等、さまざまな課題や生きづらさを抱える子どもたちが有しているものです。</p> <p>教師を目指す方、子どもの教育に関わる仕事をしたい方は、教育実践を通して、子どもたちの持つ特別な教育的ニーズに応答していくことが求められます。発達障害、いじめ、不登校、貧困等の子どもの教育問題を通して、学校のあり方や授業づくりの方法を含めて、“教育”についてさまざまな視点から共に考えていきましょう。</p> <p>ゼミは学生が主体となって学びと活動をつくりだしていく場です。問題意識を持って研究テーマを設定し、積極的にゼミ活動に参加することを期待しています。</p>			